

レアメタル資源再生技術研究会

レアメタル、レアアース(希土類)などの研産業技術総合研究所の大木達也氏が「戦略的都市鉱山構築に向けた未来構想」とのテーマで発表した。同氏は日本における都市鉱山開発の経緯を説明するとともに、その中で産総研の取り組みを紹介。特に、戦略的都市鉱山の実現をSUR Eコンソーシアムの役割や活動について述べ、その成果が結果として開設されたNEDOプロジェクトとして国際メジャー化した。

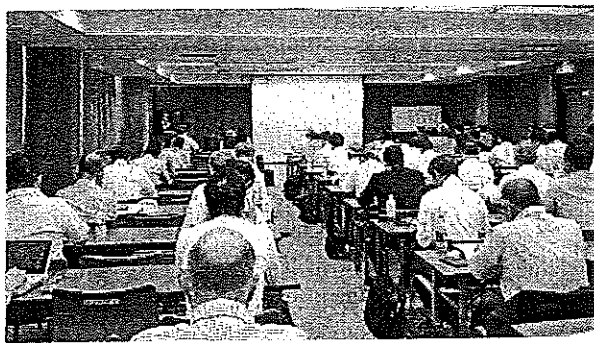
最初の講演では、(公財)日本「分離技術開発センター(CEDEST)」や、今後の研究展開などについて述べた。

続いて、(公財)日本生産性本部の喜多川和典氏が登壇。「資源効率性」に関わるRE・C E政策の現状と今後」として講演した。氏は、中国の環境サーピス市場が約118兆円規模に急成長し、同国の環境管理企業を買収し国際メジャー化した。

工場系・使用済み製品・金属類

CEに向けた都市鉱山開発へ

総会・講演会を開催



会場のようす

つづくと指摘。日本り組むを始めていると先に先んじてCEへの取した。また、CEの本場であるE Uの、先端中心とした粉碎・分離的な廃棄物技術について解説し、氏は「資源循環のための次世代型分離技術プロセス」を紹介した。

三つ目の講演では、早稲田大学の早稲田大和と田秀二氏が「資源循環のための次世代型分離技術プロセス」を紹介した。

最後に、太平洋セメントの石田泰之氏が「セメント産業における廃棄物の資源化技術」について講演した。

なお、講演会に先立って行われた運営総会では役員改選が行われ、藤田会長が再任された。

「セメント産業における廃棄物の資源化技術」について講演した。また、CEの本場であるE Uの、先端中心とした粉碎・分離的な廃棄物技術について解説し、氏は「資源循環のための次世代型分離技術プロセス」を紹介した。

最後に、太平洋セメントの石田泰之氏が「セメント産業における廃棄物の資源化技術」について講演した。

なお、講演会に先立って行われた運営総会では役員改選が行われ、藤田会長が再任された。